

土壤水分計 SM300



特徴

- 精度±2.5%, ローコストで高信頼性
- 温度センサー内蔵
- -20~60°Cの耐環境性
- 0~1V出力のため汎用の計測器に接続可能
- ハンディローガーHH2と接続して、その場で土壤水分が読み取り可能

SM300は、ADR法（Amplitude Domain Reflectometry）を利用したDelta-T社独自の土壤水分計です。上位機種ML2xと比較して、精度は落ちますが、安価で温度センサーが内蔵されています。

内部回路で作られた高周波を中央ロッドより発生させ、周辺2本のロッドに受信させた土壤のインピーダンスの差によって生じる干渉反射波の振幅差を電圧として出力し、誘電率を計測しています。TDR式と比較して、温度依存や塩分濃度の影響が非常に少ないため、化学肥料や農薬を使用している土壤にも対応可能です。電源は、外部DC電源を供給するだけで、規定電圧が出力しますので、直接データローガー等に入力が可能です。

仕様

土壤水分計 SM300	
応答時間	0.5sec (99%)
測定精度	±2.5% (0~50%・0~60°Cにて)
出力	土壤水分：0~1V (含水率0~0.6m ³ /m ³) ※大気中は0 m ³ /m ³ 温度センサー：サーミスター出力 (抵抗値)
温度特性	±0.01%/°C (0~40%・0~60°Cにて)
塩分特性	±3.5% (0~40%・50~500mS/mにて)
電源・電流	DC5~14V (18mA)
使用温度範囲	-20~60°C
寸法・重量	φ40×143L(mm) ロット長51mm ・ 約100g
出荷時指定	ケーブル長：標準5m 中継ケーブルにて延長可能 (全長：10,15,30m) 例： <u>SM300</u> - <u>L10</u> 型名 全ケーブル長10m

Produce by Delta-T社

Cat.No.101126FP



オプション：
ハンディローガーHH2（データ表示・格納）
と接続が可能です。